

2022年11月10日

各位

会社名 日本電解株式会社  
代表者名 代表取締役社長CEO 中島 英雅  
(コード番号: 5759 東証グロース)  
問合せ先 執行役員(財務担当) 増田 信昭  
E-Mail: [ir\\_team@nippon-denkai.co.jp](mailto:ir_team@nippon-denkai.co.jp)

## 2023年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年8月10日公表の2023年3月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回(8/10)発表予想 (前回予想)(A)	百万円 18,000	百万円 △ 500	百万円 △ 800	百万円 △ 800	円 銭 △110 34
今回修正予想(B)	17,700	△ 1,000	△ 1,200	△ 1,100	△151 66
増減額(B-A)	△ 300	△ 500	△ 400	△ 300	—
増減率(%)	△ 1.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 2022年3月期	20,558	1,004	976	848	117 22

#### 2. 修正の理由

車載電池用銅箔の需要は、大手 xEV メーカーの生産計画抑制等により販売の低迷が続いております。回路基板用銅箔においては、スマートフォン向けハイエンド製品において、主として中国大手スマートフォンメーカー向け受注が振るわない状況にあり、連結売上高は2022年8月10日に公表した業績予想(以下「前回予想」と表記)

を下回る見込となりました。この販売減と生産数量減少による操業度の低下に加えて、電力単価高騰等のコストアップにより、営業利益以下の各段階利益についても前回予想を下回ると想定されるため、予想数値を修正いたします。

#### ■ 売上高の見込

連結売上高は、主として一部主要顧客における生産抑制、中国スマートフォン需要の低迷により、前回予想より約3億円減少し、177億円（前回予想180億円）となる見込です。

#### ■ 損益の見込（営業利益）

連結営業利益は、前回予想の△約5億円から△約10億円となる見込です。

これは、前項（売上高の見込）でお示しした販売減少要因（前回予想以降の営業利益への追加的影響△約3億円）に加え、電力単価の高騰（同△約1億円）、銅価格の上昇（同△約2億円）、調達資材コストの高騰（同△1億円）、電力単価高騰分の販売価格への反映・生産効率化・歩留改善・人件費削減・経費節減等による収益挽回の実施（同+約2億円）により修正するものです。

### 3. 現状認識と収益挽回策

当社グループは現在、販売が低迷し、生産高減少により操業度が低下しているところに、電力単価高騰等のコストアップ要因が重なり、収益を獲得しにくい状況にあると認識しております。

この状況を打開し、持続的な成長を取り戻すため、国内外の既存・新規顧客（バッテリーメーカー、基板メーカー）への拡販、次世代電池用銅箔や、5G以降の通信規格に対応する回路基板用銅箔等、高付加価値製品の開発・拡販に取り組むとともに、生産性改善のための投資（IoTの拡大等）等の施策を進め、販売数量の拡大、収益力の回復に取り組みます。

以 上

#### ※ 業績予想に関するご注意事項

本資料には、現在の予定、推定、見込又は予測に基づく将来に関する記述が含まれております。この将来に関する記述は、発表日現在において利用可能な情報をもとに、当社経営者が判断した内容に基づいております。将来に関する記述には様々なリスクや不確実性があり、諸々の要因の変化等により、この資料に記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがありますことをご了承ください。